

# 第79期 中間事業 レポート

平成21年11月1日 ▶ 平成22年4月30日



桂浜（高知県高知市）



## Top Message

# トップメッセージ

## ごあいさつ

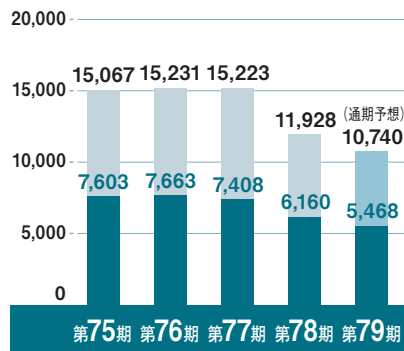
株主の皆様におかれましては、  
 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 ここに、第79期(平成21年11月1日から平成22年10月31日まで)の  
 中間事業レポートをお届けいたします。  
 今後とも株主の皆様から厚いご指導、ご支援を賜りますよう、  
 何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成22年7月  
 代表取締役社長 弥勒 美彦

## ハイライト情報(連結)

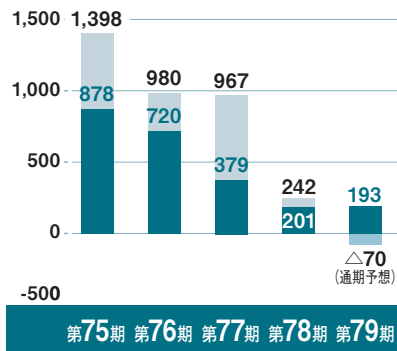
### 売上高

単位:百万円



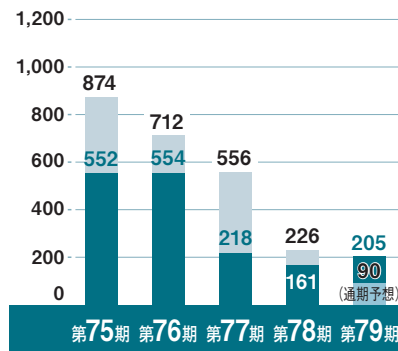
### 経常利益

単位:百万円



### 当期(四半期)純利益

単位:百万円



## 当第2四半期連結累計期間の概要

### 厳しい状況を乗り切るため、原価低減を徹底

当第2四半期までの日本経済は、政府による景気対策の効果などを背景に景気回復の兆しが一部で見られました。しかし、雇用情勢は改善されないなど、依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは顧客の期待に応えられる製品づくりを目指し、コストパフォーマンスの高い製

品の開発に努めるとともに、さらなる原価低減に取り組むなど、グループ一丸となって業績の向上に力を注ぎました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,468百万円（前年同期比11.2%減）、経常利益は193百万円（前年同期比3.8%減）、四半期純利益は205百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

## 戦略と課題

### 構造改革を実現し、経営効率の向上へ

当社グループの主力となる市場の回復が進まないなか、経済環境の変化に柔軟に対応できる構造改革を推進し、企業の存続・発展に向けた経営効率の向上に取り組めます。

猟銃事業では、品質管理体制の充実と生産体制の見直しを図るとともに、魅力的な新製品の開発および原価低減にさらなる力を注ぎます。

工作機械事業では、品質管理の徹底や原価管理・提案営業の強化により、顧客満足度と収益性の向上に努めます。また、加工部門ではさらなる新規顧客の開拓を推進します。

自動車関連事業では、徹底したムダの排除によるコストダウンに取り組めます。それと同時に次世代戦略製品の開発などにも注力し、企業体質の強化を図ります。

## 今後の見通し

### 工作機械と自動車関連が堅調に推移

下期も当社グループを取り巻く環境は、依然として厳しい状況で推移することが予想されます。

猟銃事業では当面の間、主力となる米国・欧州市場の景気回復は見込み難しく、計画を下回ることも予想されます。しかし、工作機械事業は、当初計画を上回る状況にあり、

自動車関連事業も、ほぼ計画通りに推移する見通しです。

その結果、通期の連結業績予想につきましては当初の計画通り、売上高10,740百万円、経常損失70百万円、当期純利益90百万円を見込んでいます。

## Ⅲ 猟銃事業

売上高  
2,598百万円

売上高  
構成比  
47.5%

### Ⅲ 営業概況

主力となる米国市場は、失業率の高止まりなどの影響を受けて個人消費が停滞し、流通在庫も過剰傾向が続いています。このような状況のもと、引き続き販売促進策を積極的に推進しましたが、購買意欲を十分に刺激するには至らず、上下二連銃およびボルトアクションライフルとも販売数量は前年同期を大きく下回りました。

その結果、売上高は2,598百万円（前年同期比31.8%減）、営業損失は81百万円となりました。

#### ショットガン



#### ライフル



## Ⅲ 工作機械事業

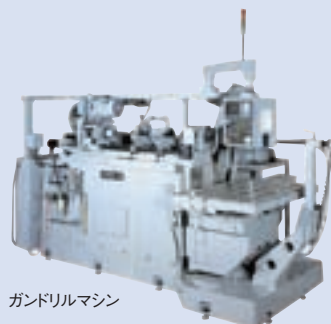
売上高  
949百万円

売上高  
構成比  
17.3%

### Ⅲ 営業概況

主要顧客の自動車・金型関連業界は、生産の持ち直し傾向が見られたものの、設備過剰感は依然として強く、機械部門の販売は前年同期を下回りました。一方、消耗品販売は回復に転じ、ツール部門では前年同期を上回りました。

その結果、売上高は949百万円（前年同期比24.6%減）、営業利益は販売費などのコスト削減効果により97百万円（前年同期比5.6%減）となりました。なお、売上高につきましてはセグメント間の内部売上高6百万円を含んでいます。



## 自動車関連事業

売上高  
1,908百万円

売上高  
構成比  
34.9%

### 営業概況

自動車業界は、各国が実施した買換え支援策の効果により、新車販売台数は増加傾向で推移しました。当社グループの主力商品である純木製ステアリングハンドルやシフトノブを搭載した車種の販売が好調で、販売数量は前年同期を大幅に上回りました。

その結果、売上高は1,908百万円（前年同期比78.8%増）、営業利益は21百万円（前年同期比120.7%増）となりました。

※自動車関連事業は、持分法適用関連会社である（株）ミロクテクウッドを中核としており、同事業の発展・成長は、主に持分法投資利益の増加を通じて、当社連結業績に反映されます。



## その他事業

売上高  
18百万円

売上高  
構成比  
0.3%

### 営業概況

当事業では、猟銃用木材の耐候性研究から生まれた含浸技術を屋外建築用木材に応用した「ミロモックル製品」を展開しています。環境にやさしい高性能なエコ製品を、公園などの公共工事を中心に、個人住宅やマンションなどの民間工事にも普及させる活動に努めました。しかし、公共投資の削減などで需要が伸びず、厳しい状況が続いています。

その結果、売上高は18百万円（前年同期比38.1%減）、営業損失は4百万円となりました。



愛知県名古屋市／徳川園



広島県豊田郡本郷町／中央森林公園・三景園

## 連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結 会計年度末 (平成21年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,169,244	6,658,467
固定資産	8,092,327	8,369,648
有形固定資産	4,505,216	4,743,028
無形固定資産	37,349	45,840
投資その他の資産	3,549,762	3,580,779
資産合計	15,261,572	15,028,116
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,083,365	5,232,796
固定負債	1,565,254	1,452,640
負債合計	6,648,619	6,685,436
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,227,666	8,044,359
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	519,252	519,293
利益剰余金	6,918,880	6,735,558
自己株式	△73,593	△73,619
評価・換算差額等	382,132	295,467
その他有価証券評価差額金	384,236	299,080
為替換算調整勘定	△2,104	△3,613
少数株主持分	3,155	2,852
純資産合計	8,612,953	8,342,679
負債純資産合計	15,261,572	15,028,116

### 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)
売上高	5,468,179	6,160,285
売上原価	5,026,999	5,285,190
売上総利益	441,180	875,095
販売費及び一般管理費	518,588	650,755
営業利益又は営業損失(△)	△77,407	224,339
営業外収益	287,664	66,745
営業外費用	16,667	89,829
経常利益	193,588	201,255
特別利益	188,116	136,958
特別損失	1,294	4,331
税金等調整前四半期純利益	380,410	333,882
法人税等	174,579	171,996
少数株主利益	302	583
四半期純利益	205,529	161,302

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	754,127	430,666
投資活動による キャッシュ・フロー	396,604	△180,111
財務活動による キャッシュ・フロー	△36,885	509,606
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1,222	△467
現金及び現金同等物の 増加額	1,115,068	759,694
現金及び現金同等物の 期首残高	1,571,899	1,087,454
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,686,967	1,847,148

# 会社概況

(平成22年4月30日現在)

## 会社概要

社 名：株式会社ミロク  
Miroku Corporation

所在地：高知県南国市篠原537番地1

設立：1946(昭和21)年7月5日  
2003(平成15)年5月1日持株会社化

資本金：863,126千円

従業員数：509名(連結対象子会社含む)

事業内容：**猟銃事業**  
猟銃の製造および販売

**工作機械事業**  
深孔加工機等工作機械・工具の製造  
および販売

**自動車関連事業**  
自動車用部品の製造および販売

**その他事業**  
木工製品の加工および販売

## 役員

代表取締役社長：弥勒 美彦

代表取締役専務：田中 勝久

取締役 役：近藤 久視

取締役 役：荒井 瑞夫

取締役 役：チャールズ・グブラメント

取締役 役：堀川 洋幸

取締役 役：ジャン・ピエール・ワレマック

取締役 役：楠瀬 正広

常勤監査役：深見 裕夫

監査役：山本 吾一

監査役：加藤 康彦

監査役：中澤 啓

## 連結子会社

株式会社ミロク製作所  
株式会社ミロク精工  
株式会社香北ミロク  
株式会社梶原ミロク  
ミロク機械株式会社  
MIROKU MACHINE TOOL, INC.  
株式会社馬路ミロク

## 関連会社

株式会社ミロク工芸  
株式会社ミロクテクノウッド  
T&M USA, INC.  
株式会社特殊製鋼所  
株式会社ミロク興産

### ※ホームページのご案内

企業・製品・採用情報のほか、投資家情報コーナーも充実させ、財務データや決算短信などを公開しています。銃づくりの工程を分かりやすく紹介した「バーチャル工場見学」も好評です。ぜひご覧下さい。

URL <http://www.miroku-jp.com/>



## 株式情報

(平成22年4月30日現在)

## 株主メモ

### 株式の状況

発行可能株式総数……………50,000,000株  
発行済株式総数……………15,027,209株  
株主数……………1,534名

### 大株主(上位10名)

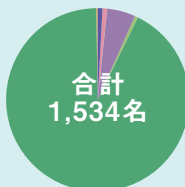
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
エムエルビー エフエス カストディー (常任代理人 メリルリンチ日本証券株式会社)	1,474	9.8
株式会社ミロク興産	997	6.6
日本興亜損害保険株式会社	789	5.3
株式会社四国銀行	710	4.7
株式会社高知銀行	665	4.4
ミロク共栄会	656	4.4
株式会社西島製作所	577	3.8
日油株式会社	491	3.3
明治安田生命保険相互会社	444	3.0
日本生命保険相互会社	444	3.0

(注)第1順位のエムエルビー エフエス カストディー(名義人)の所有株として記載した1,474千株は、当社筆頭株主であるブローニング・アームズ・カンパニーが実質株主として所有しております。

### 株式分布状況

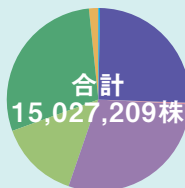
#### 所有者別株主数

■ 政府・地方公共団体	1名	(0.1%)
■ 金融機関	12名	(0.8%)
■ 金融商品取引業者	11名	(0.7%)
■ その他の法人	74名	(4.8%)
■ 外国法人等	9名	(0.6%)
■ 個人・その他	1,426名	(92.9%)
■ 自己名義株式	1名	(0.1%)



#### 所有者別持株数

■ 政府・地方公共団体	45,600株	(0.3%)
■ 金融機関	3,801,623株	(25.3%)
■ 金融商品取引業者	34,769株	(0.2%)
■ その他の法人	4,448,494株	(29.6%)
■ 外国法人等	2,119,245株	(14.1%)
■ 個人・その他	4,354,505株	(29.0%)
■ 自己名義株式	222,973株	(1.5%)



事業年度：毎年11月1日から翌年10月31日まで  
基準日：定時株主総会 10月31日  
剰余金の配当 期末 10月31日  
中間 4月30日

株主名簿管理人：〒100-0005  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所：〒541-8502  
(お問い合わせ先) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777(通話料無料)

特別口座管理機関：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先：〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777(通話料無料)

公告方法：電子公告の方法により行います。  
ただし、やむを得ない事由により  
電子公告をすることができない場合は、  
日本経済新聞に掲載します。

電子公告掲載URL  
<http://www.miroku-jp.com/>

単元株式数：1,000株

証券コード：7983

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行  
株式会社の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料)  
0120-244-479(本店証券代行部)  
0120-684-479(大阪証券代行部)

インターネットホームページ  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



高知県南国市篠原537番地1  
TEL:088-863-3310



このレポートは、環境に配慮し、  
大豆油インキを使用しております。